

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第7回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 自主的審議事項「金谷地区公民館について」（公開）
- (2) 自主的審議に係る提案「地域の安全安心確保について」（公開）
- (3) 地域協議会の運営について（公開）

3 開催日時

平成29年9月26日（火） 午後5時56分から午後7時21分まで

4 開催場所

金谷地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、伊崎博幸、石野伸二、伊藤三重子、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、高橋敏光、竹内恵市、永野起男、西条聖士、山口茂幸、吉村清正
- ・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、槇島係長、小林主事

8 発言の内容

【小林主事】

- ・土屋委員を除く15名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：永野委員、西条委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

議題に入る前に、1点報告がある。

9月20日午後2時から福祉交流プラザにおいて、「黒田小学校区における地域連携施設の設置について（意見書）」と市からの回答の内容を、学校運営協議会会長に伝えた。

今までの会議の経過と意見書、回答について説明し、理解を得た。会長から、次に予定している学校運営協議会の場で報告する旨、回答があった。

— 一次第3議題（1）自主的審議事項「金谷地区公民館について」 —

【高宮会長】

次第3議題（1）「自主的審議事項『金谷地区公民館について』」に入る。

前回の会議において、各委員から出された意見をもとに、意見書の文案を正副会長で検討し、作成することが決まったため、委員からの意見一覧を資料No.1のとおり、意見書の文案を資料No.2のとおり作成し、事前に送付した。

意見書の文案について、意見、質疑を求める。

【石野委員】

意見ではないが、基本的なことを事務局に伺いたい。

もし10月の選挙で市長が代わった場合、再度出すことはできるか。

【佐藤センター長】

出し直す必要はない。

【石野委員】

回答は覆らないということか。

【佐藤センター長】

その時点での政策判断になるため、市長が代わっても今まで出ていた提案書をも
う一回精査することはない。

【石野委員】

新しくなってから出した方がよいか。

【川住副会長】

出す時期は早い方がよい。意見書は皆さんの意見を全部まとめている。前日も、
今回出そうという話だった。

【高宮会長】

他に意見を求めるがなし。

「金谷区誌」というものが各家庭に1冊ずつ配られている。この中に公民館につ
いて書いてあるため、帰ったら読んでほしい。

資料No.2のとおり市へ意見書を提出してよいか諮り、委員全員の上承を得る。

— 一次第3議題（2）自主的審議に係る提案「地域の安全安心確保について」 —

【高宮会長】

次第3議題（2）「自主的審議に係る提案『地域の安全安心確保について』」に入
る。

前回会議において、「地域の安全安心確保について」を自主的審議事項に取り上げ
るかどうかが継続審議としていたことから、本日改めて協議したい。

「地域の安全安心確保について」を自主的審議事項にすることについて、意見を
求める。

【石野委員】

安心安全の範囲が非常に広い。ある程度絞った方がよい。

【高宮会長】

先般は特に防犯カメラを、という話だった。おそらく委員の皆さんは金谷地区に
おける防犯カメラの設置に対して、どのエリアがどういう状況になっているか、あ
るいはどこが管理するのかを各自チェックしながら見て来られたかと思う。また、

石野委員からは、もう少し絞った方がよいとの意見があった。そういうことを踏まえながら、各委員の意見を聞きたい。

【伊崎委員】

私としてはそんなに意見はない。皆さんの意見を参考にしたい。

【石野委員】

防犯カメラは誰が管理するか、これが大きな課題になる。なかなか難しい問題。

【伊藤委員】

慣れない、知らないというのが先に立つ。もう少し細かく提示してほしい。

【牛木委員】

範囲が広くて各地の状況はよく分からないが、中ノ俣では自分たちで4か所設置して、管理は7年くらい前に中ノ俣に越してきた人がしてくれている。

【高宮会長】

中ノ俣は独自で入れているということで、良い例として参考になる。

【桑山委員】

私は店をしていて防犯カメラをたくさん付けているが、誰が管理して、どこに付けるか、何のために付けるかをはっきりしないと、プライバシーの問題も出てくる。そういうことをよく検討していかないと難しい。

【齋藤委員】

先回、安全安心については防犯や不法投棄など多岐に渡るとのことだったが、資料が整理されていない。整理されたものがあれば討議しやすい。確か継続審議案件ということだった。今日ここで具体的に審議することだが、考えていなかったため具体的な考えはない。

自主的審議をするにも範囲が広いため、安全安心についてそれぞれ項目を挙げ、取り上げるかどうか絞り、話し合いをしていったほうがよいと思うため、できれば一覧表のような資料を。皆さんそれぞれが手書きでは、なかなか話が進まない。

【高橋委員】

先般、地域の安全確保、防犯、不法投棄などについて話したと思う。

新幹線の駅や、ショッピングモールのようなものがたくさんできたため、防犯と

いう話が出てきたと思うが、金谷地区ではある程度防犯パトロールをしている。

自主的審議事項「金谷地区公民館について」を集中的に行い、意見書を提出し、「地域の安全安心確保について」は、次に回してもよいのではないかという話だったと思う。2つとも意見書を出すとなると、あっちもこっちもとなり地域協議会も受け取る側も大変なため、公民館に一本化するのだろう。内部で話し合うのはよいが。

不法投棄の方も防犯カメラという話が出たが、電線が全くないため付けるのは無理だと、今年の春に生活環境課から既に返事をもらっているため、付けられない。高さ2mの金網も豪雪地帯のため張るつもりはないという返事をもらっているため、今我々がしている活動で何とか補っていかなければいけない。

【竹内委員】

この問題は前回継続となったため、継続になると思っていた。時間が少しあるため、また議題に上ったのだろう。

最近、黒田と昭和町2丁目のカメラの映像がJ C Vに映る。他にはないと思うが、これ以上付けるとしたら大きな通りだろう。

他の地域でもこの問題が出ているはずだと思うため、他の地域はどんな活動をしているか知りたい。うちの町内としては、例えば山麓線の入口くらいにあればよいが、無理をして付けることもないと思っている。

防犯カメラを今すぐということについては、私もよく分からない状況である。

【永野委員】

うちの町内も一時は物騒な地域であり、防犯カメラを付けた方がよい、定期的に回った方がよいなど、いろいろな意見が出てきている中で、道路が良くなったり周辺の樹木が伐採されたりして、非常に見通しが良くなり環境が整ってきている。

そういうことを考えていくと、今、防犯カメラということを言われているが、住民自身が求めているものではない。他の方法を考えるべき。

【西条委員】

地域活動支援事業の事例集を見ると、他の地域ではLED防犯灯、交通安全、防災など安全安心に取り組んでいるところがあった。LED防犯灯は多く設置されて

おり、カメラは誰が管理するのかという問題が大きいと、今の時勢 Jアラートの話もあり、避難訓練などもいざというときの安全安心につながるのではないかと。金谷区より広くなってしまうが、地域住民の安全の中で「こういう事態になったらこうしなくてはならない」という訓練や啓発活動を、外部から人を招いて行うということも考えられる。安全安心の意識を育てる方に向けてもよい。

【山口委員】

まず公民館の問題を最優先にしようと前回話し合った。こちらで内容を検討するのはやぶさかではないが、防犯といっても範囲が広く、難しい面がたくさんある。地域のセキュリティという問題になると思うが、管理面やプライバシーの問題もある。例えば誘拐事件があった、人がいなくなった、高齢者がどこかへ行ってしまったなど有事のとき、カメラに映っていれば何時何分にここを通っていると分かるが、簡単に閲覧できるのか。有事のときは警察等とリンクして問題解決になるのかなど、もっと多岐に渡って検討する必要がある。

地域協議会で検討するのはやぶさかではないが、メインの公民館を何とか実現味を帯びるように集中論議した方がよい。

【吉村委員】

安全安心というのは永遠のテーマである。窓口は広いが、審議していく必要はある。ただ、金谷地区公民館の話が第一であり、その後で審議事項に載せておくか。私も防犯カメラについて話したため無責任な言い方かもしれないが、実際に J C V でもカメラの台数はジワジワと増えているし、防災関係では市の担当課で防災備品の管理や防災訓練の啓発等に年々力を入れているようである。

高橋委員の言われるとおり、まるっきり次に回してしまうわけにはいかない。いつもどこかで見え隠れしてくるだろう。例えば自主的審議事項から外して新たな課題を探そうと言ったときも、同じような話は出てくるだろうが、とりあえず目先を変えて安全安心から離れ、市へアピールしなければならない話題、議題がないか、もう 1 回探してみたらどうか。

【村田副会長】

地域協議会委員としての主たる仕事は自主的審議だと教えてもらっている。自主

的審議事項は、前任の協議会では4年間でひとつしかなかった。私たちは2年目に初めて「黒田小学校区における地域連携施設の設置について」の意見書を提出した。黒田小学校に続いて今、「金谷地区公民館について」のとりまとめができたため、これで2つ。そして今回、時間の余裕ができたため続いて第3弾と。私たちの役目は自主的審議だろうというのが、会長と副会長の見解だった。

安全安心というのは、1年前からずっと出ていることである。改めて出したわけではない。1年間いろいろ言われた中で、この6月にも提案書を出した。それを取りまとめようかということをお皆さんに諮った次第である。あまりにも抽象的であり、具体的な話に絞った方がよいと言われるのもひとつである。ここで次に送り、時期が来たら出そうということも考え方のひとつ。皆さんに諮り、もう少し具体的にしたらよいとか、方向を変えたらよいとなれば、それでよい。

意見はたくさんいただいている。皆さんに諮ってよいと思う。

【川住副会長】

先ほど、公民館の話がまとまった。まず意見書を出して、市の考えがどうなのかを確かめることが先。場所をどこにするか、建物の構造などは次の段階。この意見書によって金谷区に新しい公民館が必要だと認めてもらわないと、次に進みにくい。どこへ作るか、建物の構造はどうかという話は、まだ早い。

安全安心についての的を絞るという話が出ているが、防犯灯については蛍光灯からLEDに替えていて、残りもわずかになってきた。来年、遅くとも再来年には終わるが、終わったから金谷区全部もうよいとはならない。要望があれば新しく付けるという話が市から来て、去年申し込んだが外れた。やはり申込みが多い。どこの地区も、今まで付いていないところへ防犯灯を付けたい。新しく団地ができたり、道路事情が変わったりすると、新しい防犯灯の設置が必要になってくる。そういうことも安全安心の中に入るのではないかな。

監視カメラについては私もよく分からないが、東京あたりで犯罪があるとまず監視カメラの点検である。上越でもコンビニや駅などに設置されているのか。されていけば、もし何かあった場合には、必ずそういうところを通るため、ある程度犯罪捜査につながっている。ただ、店のないところは付いていない。例えば、南葉高原

キャンプ場へ行く道路。ああいったところには電線がないのか。電柱がないと非常に面倒だが、簡易型などいろいろあるため、そういうものを付けることができれば。

向橋にできるダム道路は、今電気工事をしていて電柱ができているため、監視カメラ等の設置が可能になる。これは県のダムなので、県でしてくれるかどうか。近くにあるため不法投棄が増える。防犯灯や監視カメラというものは、これから増やしていく必要がある。

【竹内委員】

今、カメラについて皆さんから意見が出た。安全安心確保について最初に話が出てきたのは、各PTAとの話し合いで道路が暗いという話が出てきたもので、その問題を早く回答してあげる必要がある。うちの町内もそうだが、山麓線が通学路になっている地域の方々が言っているのだろう。山麓線は県道なので、県が防犯灯を付けることができるのか調査して、付かないと言われたらそれもひとつの回答になる。県道で防犯灯はあまり見たことがない。それができるのか。できないものをいつまでも延ばしても、話は前に進まない。県道に防犯灯を付けることができるとなれば要望する、ということで進めていったらどうか。

【石野委員】

私が分かっている範囲では、防犯灯は県道にも付いている。ただ集落間は、地頭方、黒田と青木の間もそうだが、市が設置している。県としては一切設置していない。だから、県は多分しないはずである。ただ、それが通学路の場合は、市の教育委員会等が認めれば市が設置すると思う。そう動くのであれば、各校区で調整していくなりすればよい。

またカメラの件だが、今考えているのは何か犯罪が起きた後のこと。変な人が入ってくればすぐ警報が出るというものではない。起きた後のことを求めるのか、犯罪が起きないことを求めるのか。犯罪を減らすのであれば、あくまでもカメラは手段であるため、安心を求めるには何がよいのか議論した方がよい。意見書を出すにしても、目的をはっきりさせないと。例えば不法投棄が問題であれば、どう防ぐかが目的であるため、まずそこをはっきりしてから意見書に持っていった方がよい。

【高宮会長】

皆さんの意見を聞くと、もう少し掘り下げて、という意見が多かった。今までは安全安心については防犯カメラということでずっと討議してきた。

【石野委員】

うちの町内の交差点のすぐ近くで、7月末、車が車庫に激突して当て逃げをした。その車も片輪パンクしていたが逃げてしまった。山麓線の交差点を通ったと思うが、そこにカメラがあれば犯人のナンバーが分かった。そういうものが一切ないため、まだ犯人が分からない。カメラがあれば、ある程度分かった。

【山口委員】

先日、市道大和上中田線の交差点で大きな事故があり、やっと「止まれ」の標識と停止線を警察が付けた。事故が起きないと対応してもらえないのはよくない。ここで大きな事故があったと言ったら、車が吹っ飛んで田んぼの中に落ちているのに、「大した事故ではなかった」と言われた。それでは駄目だと、実際に何回も事故が起きていると言ってきた。今は標識と停止線ができています。

【石野委員】

人身でないと。物損くらいでは。

【高橋委員】

最近の地域の安全安心というのはとても範囲が広がっている。北朝鮮からロケットが飛んできた場合、頑丈な建物の中に入ってくださいと言われてもどこへ入ったらよいか全く分からない。そんなことを我々はなかなか考えられない。多分上越市も考えられない。国全体を見ても考えられないものを、我々に考えろと言っても無理である。

そういうことなので、とにかくこの件は少し置いておいて、頭を冷やしてから改めて考え直せばよい。今回は一度打ち切り、改めて意見が出てきて考えがまとまったら出した方がよい。

【高宮会長】

採決してもよいか。

【石野委員】

何を採決するのか。

【高宮会長】

自主的審議事項として取り上げるかどうかということ。

【石野委員】

採用しないのか、継続するのかということか。

【高橋委員】

今はしまっておいて、あとで継続できる。範囲が広すぎるため話がまとまらない。ある程度皆で考えて、まとまったときにまたこの話を。

【齋藤委員】

継続審議とこの前整理したのに、2回も3回も同じことをしていると時間の無駄になる。また必要になればいくらでもできる。これはもう整理してあるため、また採決するというのは疑問。

飯、昭和町1、2丁目、御殿山町、上昭和町と、金谷の下（しも）の方は大きな世帯を抱えている。住宅、住まい、まちづくりという部分で、地域協議会でのまちづくりとなると、安全安心も全部含まれている。

昭和町の昔の田んぼを造成した際、昔の地区計画の中で、今の車社会では夏場でも道路の幅が狭いと。用水について市と関川水系がやりとりしたが一向に整理されない。例えば、農業用水である程度幅があれば、お金がかかるが、埋め立てて上に蓋をして舗装しておけば歩道ができる。あるいは歩道の部分を少し取っても道路の部分を楽しめる箇所がかなりある。電柱もあり、道路が非常に使いづらい。生活しづらい。事故も起こりやすい。

まちづくりは非常にお金がかかることでもあり、市でも十分分かっていると思うが、皆さんいろいろな考えを持ち、いろいろな住民の声も聞いているため、それをもとに話し合い、地域協議会としてひとつひとつ問題を挙げていくのがよい。金谷区というのは、状況は違おうだろうがかなり共通した部分もあるため、いい形になるような協議が必要。

【竹内委員】

先ほど村田副会長から、公民館問題がある程度目途がついたため、三役と事務局で相談して改めて安全安心確保の問題を出したとあったが、皆さんは保留にして次

期継続くらいにしてはどうかという意見なので、それでまとめたらいかがか。

【高宮会長】

ひとつ誤解をしないでほしい。「地域の安全安心確保について」は、自主的審議事項に取り上げるかどうか採決は行っていない。それはうやむやにできないということで、我々三役が話し合い、今回自主的審議事項として取り上げるかどうかを決めたい。皆さんの考え方の中では継続審議でよいとのことだが、その採決を行っていない。私も会議運営についてあまり詳しくはないが、その辺をきちんとしなければならない。金谷区地域協議会としてこの問題を自主的審議事項として取り上げるかどうか、皆さんの意見を聞いている。

今、皆さんの意見を聞いた。よって、自主的審議事項として取り上げるかどうか採決したい。今回は取り上げない、もう少し時間をかけた方がよいという方は挙手を願う。

【竹内委員】

取り下げておいて、これから継続審議するということか。

【高宮会長】

そのとおり。

【石野委員】

継続審議というのは違う。よく分からない。

【高橋委員】

しまっておく。また時期が来たら出す。

【齋藤委員】

それは継続審議ではないだろう。

【高宮会長】

この問題については、もう少し現状を確認する必要があることから、さらに詳細を調査し来月以降にあらためて自主的審議事項とするかを審議することを諮り、委員全員の了承を得る。

ただ、今後継続的にいろいろな細かいものをするということである。この辺は三役で決めることになるのだろうか。

このことについて意見を求めるがなし。

では、それは別個に考えることにする。

一次第3議題（3）地域協議会の運営について一

【高宮会長】

次第3議題（3）「地域協議会の運営について」に入る。

前回の会議で、冬期間の地域協議会の開始時間について、これまでは午後3時開始としていたものを、午後6時開始に変更するよう提案があった。

本日は、この提案のとおり開始時間を変更するかどうか決めたい。

このことについて意見を求める。

【高橋委員】

仕事をしている方もいらっしゃると思う。まずそちらの方の意見を聞いた方がよいのではないか。

【高宮会長】

吉村委員は仕事をしているか。

【吉村委員】

していない。

【西条委員】

会社をしているため、午後3時という正直きつい。うちはピーター相手の商売なので、これから冬になると、雪が降らなければよいが、降ると私も会社に詰めた場合によっては緊急の配達に出たりするため、日中は厳しい。できれば午後6時にしてほしい。

【伊崎委員】

私は自営なので自由がきく。どちらも大丈夫である。

【石野委員】

こちらまで帰ってくるのに1時間かかるため、午後半日分休まなくてはいけなくなる。できれば午後6時にしてほしい。

【齋藤委員】

会場まで遠い人は。

【牛木委員】

除雪は夕方してもらえるが、午後7時を過ぎるとできない。してくれとも言えない。そのため状況を見ながら、午後6時開始では出られない日は欠席にさせてもらう。雪がネックになっている。

【石野委員】

会議を5月に2回したため、回数としては月数プラス1回になっている。その分、1月の開催をなくしたらどうか。1月は一番雪が心配される。1月だけでも午後3時するとか、1月をなしにするとか、そんな形でよいのではないか。2月になればそこまでは。

【牛木委員】

こればかりは分からない。

【吉村委員】

そういう変則の開催方法は認められるのか。

【高宮会長】

委員の中で決めればよい。

【石野委員】

決めることが多ければ、11月か12月に2回するなどして、1月を飛ばす。

【吉村委員】

急ぎの議題があれば月1回では無理だし、もう1回臨時でという話になる。

【石野委員】

基本的に1月はしない。昼間だろうが夜だろうが、雪はいつ降るか分からない。近くても来られない人は来られない。

【高宮会長】

委員には町内会長が多い。行事や計画が結構あるかと思う。私事で申し訳ないが、9月は稲刈りがあるため、1か月の予定は全く埋まるような状況である。そのため変則的な時間にしても、なかなか出て来られるような状態ではない。その辺を鑑み

れば、きちんと決めた方がよい。

牛木委員からは、そういうときは欠席させてもらいたいという意見だった。

採決に移ってよいか諮り、委員全員の了承を得る。

冬期間の地域協議会の開始時間を午後6時開始に変更することについて採決し、全員賛成により変更することに決する。

牛木委員は除雪のこともあるため、止むを得ないという形になる。

それから、石野委員から雪の多い1月の協議会を休会にしてはどうかという意見が出たが、これについて三役で話したことを皆さんに諮りたい。

毎月第4水曜日に会議を開催しており、今年も残り3回会議がある。今年の1月に金谷のまちづくりを話し合う会を、地域協議会の会議とは別に2回開催した。5月には地域活動支援事業の審査で2回の会議を開催した。定例日12月27日は年末になるため、12月を休会としたいと思ったが、石野委員からは1月を休会にしてはとの意見があった。

12月、1月を休会にすることについて、意見を求める。

【石野委員】

今の段階ではよいのではないか。どうしてもしなくてはいけないものがあれば開かなくてはいけないが。

【高宮会長】

我々三役では12月を休会すると出たのだが、1月を休会するということがよいか。

12月は会議を開催し1月は休会することについて採決し、13名の賛成により1月を休会することに決する。

【村田副会長】

何か急なものがあれば、しなければいけない。

【高宮会長】

12月27日は年末になるため、12月の開催日をいつにするか決めたい。

【齋藤委員】

去年は12月21日になっている。

【高宮会長】

1週繰り上げるという案が出た。

12月20日18時でよいか諮り、委員全員の了承を得る。

会場は福祉交流プラザである。

—その他—

【高宮会長】

他に聞きたいことはあるか。

【齋藤委員】

今日、地域協議会の会場が公民館ということで、建物関係を見て確認した。先ほど川住副会長から、今ここで建物関係の話をするものではないということだったが、せつかくここに来たので、時間があればどんな使われ方をしているのかを見て、移転する場合はどんな形、例えば平屋にするなど、皆さん自分なりにアイデアを考えてはどうか。

【吉村委員】

この建物は築何年か。

【佐藤センター長】

昭和50年代の建築だと思う。

【齋藤委員】

市役所の跡地ということはもっと古い。

【石野委員】

上越市の前。

【吉村委員】

金谷村の時か。

【石野委員】

上越市ではなくて高田市。

【吉村委員】

柱の色はまだ新しい。

【高橋委員】

これは上越市になってからだが、かなり古い。

【石野委員】

上越市は昭和46年だったか。

【吉村委員】

この回りは、駐車場も全て市の土地か。

【佐藤センター長】

詳しいことは分からない。

【高宮会長】

「金谷区誌」には、「昭和40年4月、市内9つの公民館を統合し、市立高田公民館と改め、旧村単位の8公民館を高田市立公民館の分館とした。金谷は高田公民館金谷分館となった。」とある。

【石野委員】

市で調べれば分かる。

【吉村委員】

一応参考までに。

【佐藤センター長】

もし必要であれば次回報告する。

【吉村委員】

そこまで望まない。

【石野委員】

耐震基準は満たしていないか。

【高橋委員】

満たしていない。新耐震基準の以前の建物である。

【吉村委員】

耐震基準は建物の規模による。

【高橋委員】

耐震構造にしていない。そのまま。

【石野委員】

耐震診断したかどうかは分かるか。

【高橋委員】

工事はしていない。

【石野委員】

いや、診断。

【高橋委員】

診断は分からない。

【石野委員】

事務局で何か聞いているか。

【高橋委員】

診断していなくても、それ以前のものは駄目となっている。

【齋藤委員】

昭和40年に合併して高田公民館金谷分館になったとのことだが、その前から公民館の建物はここにあった。昭和30年代かもしれない。

【高橋委員】

金谷村役場があり、その中に公民館が入っていた。

【高宮会長】

皆さんも新聞等で読んだこともあると思うが、公民館の耐震構造がなっていないとか相当古いということで、上越市教育委員会の方で、どういう計画で建て直すか、場所をどうするか計画を練っているとのこと。公民館の新築はまだまだ先になるというニュースが載っているかと思う。教育委員会の方でも考えていると思うが、市の財政の問題から、「金谷が一番古いからすぐにしよう」という考えではない。全体の流れとして、どこをどうしなければならないか。他に分館があり、ここよりも古い建物である。その順序をどうするかという問題がある。

【吉村委員】

何にしても手は挙げておかななくてはいけない。

【高宮会長】

候補地まで出せるかという問題もある。金谷地区公民館というのは、金谷地区のためにある公民館ではない。この地域一帯、あるいは上越市全体で利用していく形である。先ほど見たら、ここの利用日程はぎっしり詰まっている。時間的に余裕があるような話だが、そういうような利用状態である。

【高橋委員】

だが地区公民館は各地にある。ないところはない。

【竹内委員】

28区全てで公民館地区館はひとつずつある。

【高橋委員】

どこを使ってもよいが、各地区に必ず1つある。これは国の方針。

【齋藤委員】

金谷区と表示してあるのに他の区にあるというのは、市内の他の地区にはない。

【高宮会長】

それは金谷地区の歴史。この辺は昔、金谷の農地だった。

【高橋委員】

みんな金谷地区に戻してもらいたい。大変な面積。京田から別院から全部。

【齋藤委員】

地域協議会は区を1つの単位としているのだから、金谷区として本来の正常な状態にすべき。

【高橋委員】

当時の金谷区のお偉方さんが気を許してしまったのだろう。取られっぱなし。

【石野委員】

今は山麓線ができたが山麓線がなかった。昔からあの道路があれば違っただろう。

【吉村委員】

そうだろう。動き方、考え方が全然違っただろう。

【齋藤委員】

できるだけ早く新しいものを作ってほしい。

【高橋委員】

いずれにしろ建て替えなければいけない建物。

【高宮会長】

それはここだけではない。

【石野委員】

公民館であれば当然指定避難所になるような施設にしてもらわなければいけない。28区全部でどうなっているかは分からないが。

【齋藤委員】

例えば解体をした場合、後はどうするかは我々が考えるものではない。それは市の人が考えるもの。

【高橋委員】

例えば、牧は人口が1,000人ほどしかいないのに公民館だけでなく役場まである。

【村田副会長】

もともと役場があったから。

【高橋委員】

あまりにも金谷地区を馬鹿にしている。

【吉村委員】

柿崎の庁舎は、合併前に会議室などみんな作り直してきれいにした。

【川住副会長】

今日ここで会議を設けた目的は、現状を見てもらうためである。見たとおりの設備。皆さん車は止められたか。建物は耐震構造もなく古い。いずれ建て替えなくてはならない。駐車場も狭い。なおかつ、下にある予定表を見たが、ぎっちり。金谷区と思われる予定はほとんどない。踊りやダンスの会ばかり。そこへ金谷区の申し込みをしても、ふさがっていると午前中しか空いていないと言われる。会議を午前中というのはあまりない。

そういうことをいろいろ考えると、ここに建て替えるのは不可能に近いのではないか。山麓線に近いところに。今後意見書の回答が来る。造ってよいとの回答が来

た時点で、場所や建物の構造などを。市が造るものであるため設計図などが来る。それに対してまた意見書を個々に細かく出す。とりあえず造ってよいという確認を取らないと、場所や構造などには進めないのではないか。

この意見書は、今まであった意見をほとんど網羅している。広い意味の意見書になっているが、金谷区の思いは伝わる。まず回答を見て、その後の対策を考えてはどうか。

【齋藤委員】

意見書の内容は採決されたが、要望ということを入り、強い文章の意見書にした方がよい。

【石野委員】

先ほどこの意見書は決を取り、これで行こうと決まった。都合が良ければ、明日付けでも出されるだろう。そこまで来ているのに、ここでまた文章を変えるのか。

【齋藤委員】

文章は変えなくてもよいが、要望みたいなものがあればよい。

【高橋委員】

10月早々には出されるのか。

【石野委員】

明日出される。

【川住副会長】

とりあえず手を挙げる、意見を出すことが大事。その回答が来た時点で、また新たに皆さんで検討する。

【高橋委員】

また出せばいい。何回も出せばいい。

【齋藤委員】

だいたい1か月後ぐらいにはまとまる。

【石野委員】

黒田小学校の回答は1か月经たないうちに来た。結果が出ていたから早かった。

【高橋委員】

公民館の見学はしなくてよいか。

【高宮会長】

片付けた後に。

—次第4 事務連絡—

【高宮会長】

次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

第8回地域協議会：10月25日（水）午後6時 福祉交流プラザ第1会議室

- ・金谷区地域活動支援事業に関する意見の提出を依頼
- ・当日配布資料

平成28年度上越市地域活動支援事業事例集

ウィズじょうえつからのおたより

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。